

平成29年3月8日(水) 第37号(203)

学校だより



おりひがっこ

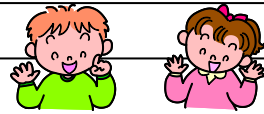
北九州市立折尾東小学校

〒 807-0824

八幡西区光明1-2-1

TEL 602-2621 奥田 淳一

元気の花 なかよしの花 やる気の花 安全の花



やさしく きびしく

「やさしい」の反対はなんでしょう？辞書をひくと一番に出てくるのは「きびしい」です。しかし、学校教育の現場に身を置いていて、「やさしい」と「きびしい」は反対の対立するものではないと感じることがよくあります。

子ども達と接している教師や親の姿を見る時、「やさしさ」の中に一本、筋の通った「きびしさ」を感じることがあります。反対に子どもに対して「きびしく」接する教師・親の姿の中に、子どもに対する「やさしい」気持ちや温かい願いを感じることもあります。

子ども達は「やさしい先生や大人が好き」というでしょう。それは当たり前といえば当たり前のことかもしれません。しかしここで気を付けなければいけないことは「やさしさ」と「あまさ」は違うということです。「やさしさ」とは、子どもの言うことをなんでも「はいはい」と聞いて子どもの言うとおりにすることは違います。それは「やさしい」ではなく「あまい」ではないでしょうか。

また、子ども達は「きびしくていやだ。」ということもあるでしょう。しかし、ここでも気をつけなければいけないことは「きびしさ」と「つめたさ」は違うということです。

きびしさとは、子どもの思いを受け止めずに、大人の思い通りにさせることではありません。それは「つめたい」ではないでしょうか。子どもにきびしく接しても、その根底には、子どものことを大切に考え、個の能力や人格や社会性を伸ばしていこうという願いがしっかり流れている時、あえてきびしく接しなければならないことがあります。それが本当の「きびしさ」ではないでしょうか。

私達子どもの周りにいる大人は、「やさしく・きびしく」「きびしく・やさしく」子ども達に接していくことが大切ではないかと思えます。「あまく」「つめたく」ではなく。皆様はどうお考えでしょうか？

百人一首大会 2/22 (全校)

4・5・6年生のクラブ活動で、昔遊びクラブが「百人一首」に取り組んでくれました。百人一首の楽しさを全校の子ども達に知ってもらおうと、2月22日(水)の昼休みに、体育館で「百人一首大会」を開いてくれました。当日は1年生から6年生まで171名を超える子ども達が集まり、小グループに分かれて、楽しみました。昔遊びクラブの上級生が、きれいな声で札を読み上げてくれました。低学年の子でもよく覚えていて感心しました。



地域交通安全施設・あいさつ運動

折尾東小学校の周りは、大きな道路が多くあり、交通量もとても多いです。交通安全については、常に指導し、気を付けさせていかなければなりません。この度、学校の周りの横断歩道・歩道帯・スクールゾーンなどの表示を塗りなおしたり新設したりしていただきました。ありがとうございました。(学校の東門前の道は朝7:30~8:30までは歩行者専用の表示がありますのでご注意ください。) 寒い中ですが、地域の皆様、PTAの皆様が、交通指導をしてくださっています。また、運営委員会の5・6年生も週に2回、朝のあいさつ運動を頑張ってくれています。皆様、ありがとうございます。



EMだんご投入！ 2/24(4年)

本校では、4年生の総合的な学習の時間に、環境の学習として、堀川にEMだんごを入れる運動に取り組んでいます。12月6日(火)に子どもと保護者でEMだんごづくりを行いました。そして、2月24日(金)にEMだんごを堀川に入れに行きました。堀川は江戸時代に人の力で掘られた運河です。地域の文化遺産が、4年生の取組で少しでもきれいになっていけばいいですね。堀川再生の会の皆様、ありがとうございました。(取組の様子が2月28日付の西日本新聞で紹介されました。)

